

中部ESD拠点運営委員会（第20回）議事メモ

日 時 平成21年9月24日（水）18時30分～20時30分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（8-C号室）

出席者 竹内委員長、千頭副委員長、寺井、羽後、高山、武者小路、黒岩の各委員

オブザーバー 村瀬、安在、今井

事務局 古澤、永田、岡本

議 事

1. (株)グッドニュース・ジャパンによる「生物多様性ポータルサイト開設の構想(案)」の説明
安在氏((株)グッドニュース・ジャパン)より、CBDインフォ実行委員会(実行委員長:千頭聡日本福祉大学教授(予定))による「生物多様性ポータルサイト開設の構想(案)」の説明がなされた。説明された主な内容は以下の通りである。

《趣旨》

- ・ COP10に関係する各グループの情報発信はバラバラのまま、関係者の多くが全体像をつかめていない。そこで産官学民の情報の入口をつくり、効率的に情報を得、COP10で決まるポスト2010年目標の達成に向けた各セクターの相互理解と協力の促進に寄与し、生物多様性の視点からの提言、ビジョンづくりやアクションの活性化等に貢献する。

《対象》

- ・ COP10や生物多様性に向けて、アクティブに活動している人々
- ・ 内容: ニュース・情報の発信、事例紹介、セクターを超えた対話の場、関連サイトとのリンク、メルマガ
- ・ スケジュール: 2009年10月 暫定オープン、2010年1月 本格オープン

これらの説明を受け、中部ESD拠点はCBDインフォ実行委員会の「協力」団体として関係することが決定された。

2. 報告事項

- 1) 「第13回ESDに関する関係機関情報交換会議」について

古澤事務局員より、9月25日に開催される「第13回ESDに関する関係機関情報交換会議」(年3回、ESD-J、ユネスコ、外務省等のESD関係機関による会議)に、RCE代表として、今回は中部ESD拠点が参加する旨が、報告された。

- 2) 中部大学国際ESDセンター主催「国際専門家会議」の開催について

古澤事務局員より、9月17日・18日に、中部大学国際ESDセンター主催「国際専門家会議」が

開催された旨が、報告された。

3. 第3回中部ESD拠点連続講座の進め方と第4回、第5回の予定について

1) 「第3回中部ESD拠点連続講座」について

羽後委員より、第3回中部ESD拠点連続講座を「伊勢・三河湾流域圏におけるグッド・プラクティスの共有化とサイバー対話ー第3回伊勢・三河湾流域圏ESDフォーラムに向けて」というタイトルで行うとの、報告がされた。

2) 「第4回中部ESD拠点連続講座」と第5回以降について

第4回中部ESD拠点連続講座は、「第3回中部ESD拠点総会及びフォーラム」（日程：12月5日（土）、場所：三重大学）の中で行う方向で検討したいとの意見が提示された。

また、第5回以降は、来年度に別シリーズとして開催する方向で進める旨が、確認された。具体的には、ESDのEをテーマに、フォーマル・ノンフォーマル・インフォーマルそれぞれの視点で講座を進める案が出され、千頭副委員長がいずれかを担当することとなった。

4. 「第3回中部ESD拠点総会及びフォーラム」について

第3回中部ESD拠点総会及びフォーラム（日程：12月5日（土）、場所：三重大学）の内容について以下のような種々議論がされた。

- ・第2回までのように、基調講演を行うか否か。
- ・第4回中部ESD拠点連続講座を同時に開催するか否か。
- ・第2回までのように、フォーラムの準備や運営を担う「フォーラム実行委員会」を設立させるか否か。設立させる場合、どこで行うべきか。

これらの議論を受け、総会・フォーラムの午後のプログラム及び「フォーラム実行委員会」に関しては、高山委員が案を作成することが、確認された。

5. プロジェクト推進の進捗状況について

1) 「COP10に向けたRCE連携の打ち合わせ」について

10月13日（火）開催予定のCOP10に向けたRCE連携の打ち合わせについて、中部ESD拠点としては、「サイバー対話事業」での連携を、打ち合わせ時に提案していく旨が、確認された。

2) 「サイバー対話事業」（第14回、第17回等の運営委員会議事録参照）について

武者小路委員より、以下のようなサイバー対話事業の進捗状況等の説明がなされた。

《段取り》

- ・2009年10月～2010年3月…ブレインストーミングを続け、かつテーマ別対話を立ち上げる。また、テーマ別（哲学、里山、干潟、流域圏、水循環、遺伝子組み換え、エネルギーとエントロピー、先住民族、等）の対話をできるところから始める。
- ・2010年3月…各テーマのまとめを行う。
- ・2010年5月～2010年10月…まとめたものの文章化する。

- ・2010年10月・・・文書化した資料（提言＋事例）を市民集会に配布する。

《対話を進めるにあたっての仕組み:》

- ・日本国内の対話では、日本語による対話と世界対話とのリンクの役割を担う
- ・ウェブマスターと企画委員会の設立が必要。中部ESD拠点やCBD市民ネットから人材を出していただくのが理想。10人ぐらいが目安。
- ・世界対話（英語）は世界のRCE拠点を中心に行う。しかし拠点だけでなく、そこから広がるネットワークを活用して対話を広げる。その際、各テーマ別グループ等に「まとめ役」を設ける必要有り。
- ・英語以外の言語別のグループ（韓国、中国、スペイン、フランス等）を設ける必要も有り。

また、古澤事務局員より、サイバー対話（日本語版）のSNSを作成したとの報告があり、その内容の説明がなされた。

以上の報告や説明を受け、ウェブマスターを古澤事務局員と村瀬氏に、企画委員会委員の一人に高山委員が就くことが、決定された。またその他の企画委員会委員については後日人選を行うことが、確認された。

6. その他

1) 「アジア太平洋RCE Coordination committee」について

モンテリオールのRCE会議からの検討事項となっている、RCEアジア太平洋会議のCoordination committeeへの参加の是非について議論を行い、中部ESD拠点から参加候補者（当面は古澤事務局員）を出す旨が決定した。

2) 助成金の申請について

(1) トヨタ財団 2009年度地域社会プログラム助成金の申請について

竹内委員長より、トヨタ財団 2009年度地域社会プログラム「地域に根ざした仕組みづくりー自立と共生の新たな地域社会をめざして」の募集が紹介され、サイバー対話も含め、募集内容に即した事業を検討して応募できないかと提案された。叩き台を事務局で作成し、次回運営委員会で議論することとした。

(2) あいちモリコロ基金の申請について

「あいちモリコロ基金」から、10月末を〆切りとして助成金公募が出ているため、昨年度の申請内容と同様のものに、精査した予算書を作成して提出することとなった。

以 上